

令和5年長審第12号

裁 決

旅客船A防波堤衝突事件

受 審 人 a

職 名 A船長

操縦免許 小型船舶操縦士

本件について、当海難審判所は、理事官川西篤史出席のうえ審理し、次のとおり裁決する。

主 文

受審人 a の小型船舶操縦士の業務を1か月停止する。

理 由

(海難の事実)

1 事件発生の年月日時刻及び場所

令和5年1月4日19時38分

長崎県福江港

2 船舶の要目

船種 船名 旅客船A

総トン数 9.7トン

登録長 11.90メートル

機関の種類 ディーゼル機関

出力 485キロワット

3 事実の経過

(1) 設備等

Aは、昭和60年12月に進水し、最大搭載人員が旅客35人及び船員3人のFRP製旅客船で、船体中央部に操舵室及び中央部客室、その前方及び後方に一段低い前部客室及び後部客室を配し、操舵室には、同室前面に窓枠によって3分割された中央及び右舷に旋回窓を装備する窓ガラス、前部右舷に舵輪、その前方に左舷側からGPSプロッター、レーダー及び機関回転計、右舷側に機関遠隔操縦装置、後方に操縦席をそれぞれ備え、a受審人が個人経営する海上タクシーAにおいて長崎県福江島、同県奈留島等の観光を目的に運航される旅客不定期航路事業に就航していた。

(2) 福江港

福江港は、福江島東岸に位置する東方に開いた港で、北部には陸岸からほぼ東西方向に延びる長さ67.20メートルの丸木防波堤A（以下「丸木防波堤」という。）が築造され、同防波堤先端には、毎4秒に赤色1閃光を発する簡易標識灯（以下「丸木簡易標識灯」という。）が設置され、Aに装備されたGPSプロッターの画面に丸木防波堤を表示することができた。

(3) 本件発生に至る経緯

Aは、a受審人が1人で乗り組み、旅客4人を乗せ、船首0.5メートル船尾1.5メートルの喫水をもって、令和5年1月4日19時10分長崎県奈留島港を発し、福江港に向かった。

a受審人は、福江島東方沖合を南下して福江港北方沖合に至り、旅客4人を後部客室に設けられた椅子に腰掛けさせ、レーダー及びGPSプロッターを休止し、自らは舵輪後方で立った姿勢で操船に当たり、平素に船位の確認に利用していた丸木簡易標識灯の灯光を

視認したら、同灯光を頼りに丸木防波堤東方沖合を航行するつもりで、19時36分僅か前福江港2号防波堤灯台（以下「福江防波堤灯台」という。）から180度（真方位、以下同じ。）70メートルの地点で、針路を248度に定め、機関を回転数毎分550にかけ、6.0ノットの速力（対地速力、以下同じ。）で、手動操舵により進行した。

定針したとき、a受審人は、丸木簡易標識灯の灯光を見付けることができず、丸木防波堤まで370メートルのところとなり、その後同防波堤に向首接近する状況であったが、視認した港内の照明を目測すれば、丸木防波堤東方沖合を無難に航過できるものと思い、GPSプロッターを作動させて同防波堤との相対位置関係を把握するなど、船位の確認を十分に行わなかったため、このことに気付かなかった。

こうして、a受審人は、19時37分半僅か過ぎ福江防波堤灯台から237度330メートルの地点で、機関を中立運転にかけて速力を5.0ノットに減じ、丸木防波堤に向首したまま続航中、19時38分福江防波堤灯台から239度400メートルの地点において、Aは、原針路及び原速力のまま、同防波堤の東端に衝突した。

当時、天候は晴れで風力2の北北西風が吹き、潮候は下げ潮の初期にあたり、視界は良好であった。

衝突の結果、船首部外板に破口を伴う擦過傷等を生じたが、のちに修理され、旅客2人が口腔内裂傷等を負った。

（原因及び受審人の行為）

本件防波堤衝突は、夜間、福江港北部において、港奥の棧橋に向けて航行する際、船位の確認が不十分で、丸木防波堤に向首進行したことに

よって発生したものである。

a 受審人は、夜間、福江港北部において、港奥の棧橋に向けて航行する場合、平素に船位の確認に利用していた丸木簡易標識灯の灯光を見付けられずにいたのだから、丸木防波堤に向首接近することのないよう、GPSプロッターを作動させて同防波堤との相対位置関係を把握するなど、船位の確認を十分に行うべき注意義務があった。しかるに、同人は、視認した港内の照明を目測すれば、丸木防波堤東方沖合を無難に航過できるものと思い、船位の確認を十分に行わなかった職務上の過失により、丸木防波堤に向首進行して同防波堤の東端への衝突を招き、船体に損傷を生じさせ、旅客2人を負傷させるに至った。

以上のa受審人の行為に対しては、海難審判法第3条の規定により、同法第4条第1項第2号を適用して同人の小型船舶操縦士の業務を1か月停止する。

よって主文のとおり裁決する。

令和6年1月23日

長崎地方海難審判所

審判官 菅 生 貴 繁